

アンジェロさんの

復興支援の取り組みと思い

アンジェロさんが、最後に東日本大震災の話をしてくれました。



◀◀石巻でミートソースを配るための準備をしているアンジェロさんとお店のスタッフ。



2011.4.27



▶たくさん作ったミートソースを被災地の皆さんに配っているアンジェロさん。テントの前には、「おいしくたべてね」というアンジェロさんの思いが大きく書かれています。

がんばる「頑張って」は、もう聞き飽きたと思う。ボクの子供とその友だちが描いた横断幕。

2011.6.28



▶炊き出しはたくさんの友人が手伝ってくれました。Tシャツは、SAYUさんが提供してくれたそうです。

地震の時は、店の物が倒れて大変でした。ニュースで原子力発電所が爆発したことを知り、イタリア大使館から避難を呼びかけるメールがたくさん来しました。飛行機のお金も用意するから、イタリアに戻るよう言われたんです。子ども2人を連れてイタリアに行きましたが、日本にお世話になっていたから「何で、自分はイタリアに来たんだ」と悩みました。「日本に戻って何かしなければ」と思いました。イタリアの空港では、日本に戻ると話したら、「正気じゃない」と言われてしまいました。日本へ1週間で戻りました。

日本へ戻ってから、色々な業者の方々にお願いをして、食材を寄付してもらい、ミートソースを3000人分作りました。イタリア人4人、日本人2人で、車で炊き出しを3日間行いました。

その他にも、友人や宮前小学校と鷹番小学校の子どもたちが提供してくれた、学用品やおもちゃ、本を持って行きました。美容師の人と一緒にいき、被災地で散髪をしてくれました。

石巻市立湊中学校の加藤先生と出会い、震災当日の話をたくさん聞きました。「津波が来て、食べ物もなく、屋上に2泊した」と伺いました。

私も実際に石巻に行つて、心に深い傷を負いました。瓦礫がたくさんあって、臭い



▶津波の被害に遭い、他校の校庭でプレハブの中で過ごしている子どもたちが笑顔を取り戻すために、ピッツア作り教室を開きました。

2012.7.17



▶石巻で出会った先生と生徒たち。この後、目黒区の自由が丘にある(私の)お店を訪ねて来てくれました。とても嬉しかったそうです。

もすぐくて、「地獄」でした。町そのものがなくなっていました。ミートソースを持って、被災地に応援に行きましたが、みんなの笑顔を引き出す事は出来ませんでした。

それでも一ヶ月後に、2000人分のミートソースを作つて行きました。業者の方へ食材の提供をお願いしましたが、前回の様に、寄付していただくことは難しかったです。

一年後に石巻の子どもたちが、修学旅行を利用してお店を訪ねて来てくれました。それ以外にも炊き出しで会った人が「ミートソースを食べたい」と言つて、お店に来てくれました。

とても嬉しかったので、それ以来、学校などに出向いてピッツア作り教室を開催する時は、必ずその時のミートソースを作るようにしています。

今年、石巻で最初に出会った子どもたちが中学を卒業するので、ファイナルでもう一回、被災地へ行きます。

(お話は8月の取材時のもの)